

# すこやかネット・まつばら

教育コミュニティのエンパワメントをめざして

松原市内各中学校区地域教育協議会では、“フェスタ”、“クリーンキャンペーン”、“子育て講座”等を開催しています。

松原市地域教育協議会では、松原市PTA協議会との共催で“防犯教室”、“松原市中学校生徒会交流会”を開催しています。また、“職場体験学習”の支援にも取り組んでいます。

このような、様々な取り組みを通じて、地域の子もどうし、子どもと大人、大人どうしが交流し合い、「顔と名前の一致する人間関係」を育む教育コミュニティの推進と共に、学校教育活動への支援・協力を行っています。

## 5つのネットワーク

- ① 体験活動のネットワーク
- ② 職場体験学習のネットワーク
- ③ 大人と子どものネットワーク
- ④ ボランティア活動のネットワーク
- ⑤ 子ども同士のネットワーク



第6回松原市中学校生徒会交流会



学校支援地域本部事業

文部科学省「学校支援地域本部事業」委託

～教育コミュニティづくりの拡大・発展～



松原市地域教育協議会  
松原市教育委員会

松原中学校区地域教育協議会では、「地域を知ろう! (歴史学習 等)」、「地域を守ろう! (防災への取り組み 等)」、「地域で繋がろう! (学校支援への取り組み 等)」を大きな柱にして活動を進めています。

## 「地域を知ろう!」

「地域を知ろう!」については、松原市文化財保護審議会委員の西田孝司氏をお招きして学習会を開き「松原の歴史」について講演をしていただいたり、また、校区フェスタ『心のふれあい秋まつり』においては、松原市教育委員会の文化財の担当の方のご協力を得て、「歴史展示」をしてきています。

## 「地域を守ろう!」

「地域を守ろう!」については、阪神淡路大震災から地域防災の大切さを学ぼうと、実際に大震災を経験された新聞社の記者の方や学校の先生を講師にお招きして、ここ2年間ほど学習会を進めてきました。また、地域内においては、防災訓練等も実際に行いながら、協力することの大切さを確認してきています。



## 「地域で繋がろう!」



「地域で繋がろう!」については、学校支援活動が主な内容です。学校支援活動は大きく『子どもを守る活動』と『子どもを育む活動』に分かれます。

『子どもを守る活動』としては、各小学校区における登下校の見守り(地域安全ボランティア) (「松小見守り隊」、「松西っ子を育てよう会」、「河合っ子守ろう会」) 活動があります。また、中学校においては、(ふれあいボランティア)としての「あいさつ運動」や「清掃活動」があげられます。

また、『子どもを育む活動』としては、小学校では、遊び体験、世代間交流、田植え、稲刈り、餅つき、しめ縄づくり、とんど祭、太鼓指導、魚釣り、紙相撲……。中学校においては、仕事についての聞き取り、マナー学習、職場体験、ものづくり等の体験学習……。いろいろな形で子どもたちとふれあいながら学校支援に協力しています。





松原第二中学校区地域教育協議会

「地域と学校のネットワークづくりに取り組んで…」

二中校区いきいきふれあい祭り



第14回「いきいきふれあい祭り」が11月15日に松原第二中学校で開催されました。

学校支援地域本部事業成果発表会!

今年は秋晴れの日。地域協の施設部が作った舞台でのオープニング。

ブラスバンド部の演奏、第8保育所園児による「荒馬」踊り、地域の方や卒業生によるライブ演奏など、華やかな舞台発表が行われました。

地域の「だんじり」や「御輿」も到着し、模擬点が一斉にスタートしました。

最後の抽選会まで、多くの地域の人々が参加してくれました。

子ども文化教室(天北小にて…)



校区の子どもたち、園児も加わり、講師の先生も招き、陶芸教室が開かれました!

放課後学習支援事業



放課後補充が学生ボランティアの協力で毎週開かれました!

「子育て講座」



昨年度から実施している「子育て講座」12月に講師を招き実施しました!  
「地域の子は地域で育てよう!」

「天南フェスタ」



1/31 地域団体のみなさんの力で、モンゴルからの講師も招き、たくさんの小学生、園児の参加によるフェスタを行いました。

## ヒューマンタウンフェスティバル

～あなたもわたしも地域の仲間！ 共に生きよう地域の未来！～

第14回三中校区ヒューマンタウンフェスティバルが11月14日(土)に行われました。子どもたちがつづいた「信じ合える仲間づくり共同宣言」を校区全体に広め、共に人権の大事にされるまちづくりをめざす思いを込めてこのテーマができました。

前日の雨のため「雨バージョン」で行われましたが、オープニングセレモニーとして体育館2階で、幼稚園児と中学校の吹奏楽部とのコラボレーション、小学生の歌(2校で合同)が行われました。その後舞台では、南中ソーラン、ダンス、地域の方々からのうた等が盛大に行われました。

体育館1階、グラウンドでは、40以上の地域の団体で模擬店や子どもの交流体験活動等が盛大に行われました。ファイナルセレモニーでは太鼓サークル「蛭」の演奏が体育館いっぱいに響いていました。



## 三中校区の児童会生徒会のみんで「五つのアクションプラン」



2年前にヒューマンタウンフェスティバルで私たちの先輩が作った『信じ合えるなかまづくり共同宣言』は、みんなが学校生活を楽しくおくるために、いじめを絶対に無くすことをちがっています。この宣言を、ことばだけで終わらせないためには、どうしていけばいいの？

2年たった今、わたしたち中央小・布小の児童会と、三中生徒会のみんで話し合い、努力していく目標を確認し合いました。そのことを、今の私たちの気持ちとしてここに宣言します。今回の宣言で書かれていることを決意だけで終わらず、実現していくために、勇気を出して具体的な行動を起こしていくことを誓います。

1. 仲間を信じて向き合おう
2. 仲間に気持ちを言い切ろう
3. 勇気を持って「NO!」と言おう  
(仲間を傷つけることは許さない!)
4. 自分の意志で行動しよう
5. 仲間の立場に立って、気持ちを考え  
て行動しよう



2年前に先輩が作った「信じ合える仲間づくり共同宣言」の思いを引き継ぎ、今年度は松原三中の生徒会、布忍小、中央小の児童会で「五つのアクションプラン」を共同で作成し、市長に手渡すと共に、舞台上にみんなに披露しました。

## 子育て講座 『夜回り先生』水谷 修先生をお招きして

2月20日(土)、『夜回り先生』として有名な水谷 修先生をお招きし、『明日笑顔になあれ!』をテーマに、子育て講座を開催しました。地域の方や子育てまっただ中の保護者、学校の先生方、小学生や中学生など約250人の参加がありました。

水谷先生は、『夜の世界』で、多くの『眠らない』『眠れない』子どもにかかわってこられました。先生は熱く語られます。「子どもって、与えられた愛が多ければ多いほど、非行から遠ざかっていくし、心の傷も浅いんです。」「おぎゃーと生まれた赤ちゃんは、どの子も悪くなってやろうなんて思っていません。子どもを悪くするのは、周りの大人なんです。」と、『夜の世界』の現実、出会った子どもたちの思い、子どもの死など、具体的なお話に、参加者すべてがひきよせられていきました。「ほめることが多いですか?」「美しい物を見つけようとしていますか?」はっとさせられました。「この子はダメだ」ではなく、子どもの中にある可能性やすばらしい力を表に出せるように、周りの大人がかかわっていく必要があるのだと、あらためて感じました。



最後に、沖縄戦で、幼い命を守ろうと体を投げ出していった大人や子どもたちのお話から、「今まで、大勢の人が、命を守り続けてきてくれたからこそ、今の子どもたちがいるんです。命は、自分だけのじゃない。みんなに守られてきた、みんなのものなんです。」としめくられ、大きな拍手の中、講演会を終えることができました。

講演会を終えて、地域の大人の中で、健やかに子どもたちを育てていくためには、まず大人が変わることが大切なのだと感じた子育て講座でした。

## いきいき健康ウォーキング



12月13日(日)、いきいき健康ウォーキングを実施しました。グループごとにスタンプを押してもらったり、課題を解いたりして、校区内を歩いていきます。今年は、三宅・別所地区の各所にチェックポイントを作り、歩いていきました。家族のグループもあれば、初めて出会った人と一緒のグループもあります。どのグループも、地図を片手に、次のポイントをめざします。ゴールするころには、どのグループもすっかりうち解けて笑顔でした。

ゴール後は、全員でのビンゴ大会。小さな子どもさんから大人まで楽しみました。

100人を越える参加者で盛り上がったいきいき健康ウォーキング。「ふだん気づかなかった地域のことが分かって、楽しかった」「初めて一緒に歩いた人だけけど、いろんな話ができてよかった」と好評のうちに終えることができました。



いきいき環境フェスタ

11月22日(日)第14回「いきいき環境フェスタ」を開催しました。多くの地域の方々の参加を頂き、多くの五中生ボランティアとスタッフ又地域の方々に支えていただき大盛況のフェスタとなりました。

本年は、第五中学校・天美小学校・天美西小学校の生徒会・児童会が昨年のユニセフ募金に続き、「学び」宣言(世界の学び・読書活動・自らの学び)をオープニングで宣言し、その宣言文を澤井松原市長に手渡すという、私たち地域の大人にとって感動的な瞬間に立ち会うこともできました。「学び」宣言の作成にあたっては、小学生・中学生が一体となり取り組みました。

これからも、テーマ「出会い・ふれあい・結びつき」を基調に、地域・家庭・学校が協力し、地域子どもたちの育ちをともに見守ります。



学び宣言を受けた地域活動



地域の方から学んだことを発信



ボランティア精神発揮の地域の美化活動

地域ボランティアに支えられた読書活動



地域の方とともに体験活動



## 笑顔・夢・ふれあい祭

11月15日(日)午前10時から、松原第六中学校グラウンド

今年も松原南小学校 PTA の方の第一声からスタートしました。会長挨拶から舞台イベントが始まりました。最初に岡町学園の鼓隊演奏。「ヤッターマンのうた」そしてヒット曲「キセキ」が演奏され、会場から大きな拍手がありました。その後、第一保育所の太鼓演奏。松原東小学校の「広島修学旅行」で学んだこと、歌とアピールの発表にステージも段々盛り上がっていきました。続いてまつかぜ幼稚園の「忍者参上!!」園児のかわいい演技に一段と大きな拍手がありました。そして、松原南小学校のダンスユニット、大塚高校のダンス同好会と新しく参加していただいたところの演技と続きました。その後、六中吹奏楽部の演奏と最後はシロマススポーツクラブの「体操の模範演技」でした。今年度初めて舞台前や舞台上を使っの発表となり、目を見張るような演技に会場も盛り上がりました。

各テントで取り組まれたイベントコーナーは松原高校「なかまの会」が新しく加わり、藤井寺保健所のブースも市内の薬剤師さんの協力で展示内容も拡充しました。今年もゴミキャッチャーズ(中学生ボランティア)の活躍にたくさんの方々から感謝の言葉をいただきました。



舞台での発表



体操の模範演技



ゴミキャッチャーズの活躍

## 小中スポーツ交流会

2月6日(日)午前10時から、松原第六中学校グラウンド

今年度も、松原六中・松原南小・松原東小合同の「小中スポーツ交流会」を実施しました。六中生がリーダーとなって、両小学校の児童と班をつくりキックベースボール大会を行いました。4月からの六中進学をひかえ、少しでも顔見知りになろうという主旨で取り組まれています。大人の方々も応援や審判そして温かいうどんづくりに参加してくれました。当日の参加者は3校の児童生徒110名、大人を含めると130名をこえる参加者でした。最後に温かいうどんをごちそうになって終わりました。



温かいうどんを食べました

キックベースボールの様子



合同班の様子

涼もう会・HOT×ほっと会 松原第七中学校

「生徒会が中心となって、地域の小学生・小さな子どもたちを楽しませよう」ということではじまった「涼もう会」も夏の恒例行事となりました。中庭を使い、手作りのボウリングやゲーム、紙芝居などの出し物をしました。また、生徒会ボランティアがゴミ拾いや案内などで活躍をしました。地域の方に協力していただき、フランクフルトやかき氷を食べながら、楽しいひと時を過ごしました。当日は、地域の学童保育からの参加や、親子での参加もあり、大盛況でした。

冬には「HOT×ほっと会」も行っており、地域の方から餅つきの指導に来ていただいています。



夏祭り 恵我南小学校

総合学習の時間やクラブで、地域の音頭りの師匠から、和太鼓を指導していただき、エガナン夏祭りのオープニングで演奏をしました。お店にもぎわい、踊りの輪もとぎれることなく盛り上がりました。

夏休みの終わりに開催し、2学期始業前に子ども達が元気に集合する機会でもあり、卒業生や転校生達も久しぶりに顔を出してくれる嬉しい場となっています。たくさんの歌い手さんの音頭で、花を添えていただき、地域・PTA・各団体からも多くのご協力をいただきました。

